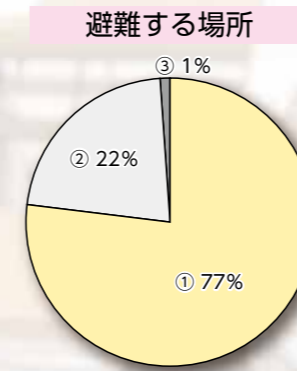


アンケート結果

◎避難する場所が決まっていますか？

A 決まっている (77%)

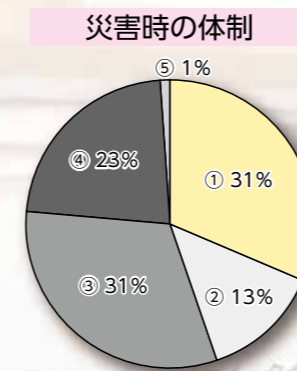
回答の傾向
約8割(①)の組織は、避難所を決めていました。市が開設する避難所や地域の集会所などでし



①決まっている
②決まっていない
③無回答

◎災害体制、防災行動計画(タイムライン※)が決まっていますか？
A 決めていて、文書で整理できている (31%)

回答の傾向
防災体制を決めている地域は44%(①と②の合計)でした。そのうちの7割(①)は、文書で整理していました。
※タイムラインとは、いつ、誰が、何をするかをまとめた計画です。



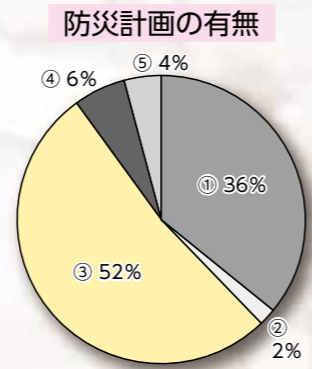
①決めていて、文書で整理できている
②決めていて、文書で整理できていない
③災害発生時に役員などで判断・行動する
④何も決まっていない
⑤無回答

本市の自主防災組織の現状
現在、連合町内会の44支部すべてで、自主防災組織が設立され、町内会単位では約4割で組織化されています。また、組織を立ち上げたものの、具体的な活動には至っていない自主防災組織もあります。
アンケート結果から、皆さんの住む地域の自主防災組織の活動を考えてみませんか。
閻危機管理室(市役所3階) ☎32-2042

◎災害時の活動を定めるための(活動マニュアル)がありますか？

A 作成し、文書で整理できている (36%)

回答の傾向
約4割(①+②)の組織は、活動マニュアルを作成し、災害時の自分たちの行動を決めています。



①作成し、文書で整理できている
②作成したが、文書化できていない
③作成していない
④分からない
⑤無回答

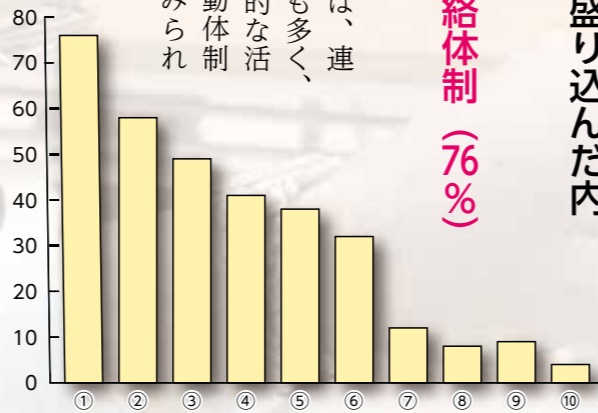
◎防災計画に盛り込んだ内容は？

A 災害時の連絡体制 (76%)

回答の傾向
防災計画の内容は、連絡体制(①)が最も多く、各班(係)の具体的な活動内容(②)、初動体制(③)の順に多くみられました。

防災計画の内容

- ①災害時の連絡体制
- ②各班(係)の具体的な活動内容
- ③発災時の初動体制
- ④安否確認体制・方法
- ⑤自主防災組織対策本部の活動内容
- ⑥住民への広報・周知活動
- ⑦災害発生時の住民行動の優先順位
- ⑧家庭での平時の備え
- ⑨その他
- ⑩無回答



自主防災組織の分担例

地域を守るため、次の役割などがあります。

防災活動班	給食給水班	救出救護班	避難誘導班	情報班	
防災意識の啓発	器具の点検	資機材調達整備	避難路(所)標識点検	情報収集伝達 広報活動	平常時
避難者への支援	水・食料の配分 炊き出し	救出 救護活動	避難誘導	状況把握 報告活動	災害時

なぜ必要？

自主防災組織

大規模災害が発生した場合、消防署などの防災機関だけでは、十分な対応ができない可能性があります。

平成7年に起きた阪神淡路大震災では、救出された人の8割が、近所の人に救出されたといわれています。

出典：自主防災組織の手引き(消防庁)

ご相談
ください

危機管理室では、自主防災組織についての相談を受け付けています。

- 防災意識を高めたい
- 災害リスクの把握、災害対応のイメージを作りたい
- 地域防災計画を作りたい



これから組織の
結成を考えている
皆さんへ

◎自主防災組織とは

A 地域住民が自分たちの地域は自分たちで守ろうという連帯感を持ち、自主的に結成する組織です。

◎組織を結成するためには
A 地域住民が集まる機会を利用し、防災について話し合う場を作ることから始めましょう。

◎役割分担の決め方は

A 組織をとりまとめる会長を置き、参加する一人ひとりの仕事の分担を決めます。役割ごとに活動する班を編成し、少しずつ充実させていきます。活動する時間帯や性別で偏りがないように注意が必要です。

◎運営方法は

A 組織の目的や役割分担を明確にした規約(ルール)を決め、日頃の対策と、災害時の活動を定めた防災計画を作る必要があります。